

# 大会宣言（案）

現在、世界のグローバル化、情報化が進む一方で、地球温暖化や自然災害等の環境問題や感染症への対応などの解決すべき課題が山積している。また、人工知能をはじめとする技術革新が社会構造や雇用形態を大きく、急速に変化させようとしている。一方、成熟社会を迎えた我が国にあつては、少子高齢化や核家族化が進む中で、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。

このような先行き不透明な時代にあつて学校教育には、予測できない変化を前向きに受け止め、主体的に向き合い・関わり合い、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となるための力を子供たちに育むことが求められている。

そのため、子供たち自身が生活や社会の変化に向き合い、解決すべき問題を見いだして課題を設定し、先人の知恵を学ぶとともに、習得した知識や技能を駆使しながら、制約条件を踏まえて最適な解決策を構想し、実践し、その成果を評価・改善する学習活動を通して、よりよい生活の実現とSDGsなどで目指す持続可能な社会を構築できる資質・能力を育てる技術・家庭科の重要性はより一層高まっているといえる。

私たち技術・家庭科に携わる教員は、本教科の特質と担う使命の重要性を深く認識し、本教科の一層の充実・発展に努めていかなければならない。よつて、本研究会は組織をあげて、よりよい技術・家庭科教育を創造していくことに、全力を尽くす所存である。

ここに、第六十回全日本中学校技術・家庭科研究大会、第六十回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会東京大会の開催にあたり、次の事項を決議し、その実現を期して関係機関に要望する。

## 決議

一、よりよい生活の実現と持続可能な社会の構築のために、技術・家庭科が担う役割の重要性を踏まえ、より専門的な教育が行えるよう、授業時数の増加と本教科の免許状を保有する教員の全中学校への配置を要望する。

一、一人一人の子供たちに深く関わり、個に応じたきめ細かな指導ができるよう、一学級を分割して少人数による技術分野と家庭分野の二展開授業を行うための制度や環境の整備と教員の配置を要望する。

一、どのような状況の中でも、実践的・体験的な学習活動を通じて学ぶという技術・家庭科の特質に基づいた教育が行えるよう、必要な施設・設備及び教材・教具等の学習環境の充実を要望する。

一、技術・家庭科担当教員の資質向上と免許状保有者を増やすために、研修の機会及び研修内容の一層の充実、免許が取得できる学部や現職教員を対象とした免許状認定講習の増設を要望する。

一、技術・家庭科のねらいが、効果的に達成されるよう、小学校・中学校・高等学校、地域社会やものづくり・消費・環境に係る企業等、関係機関との連携を推進する体制の充実を要望する。

令和三年十一月十二日

第六十回 全日本中学校技術・家庭科研究大会

第六十回 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会

東京大会